

マデリン・ブランコ・ヒネロソ（マディ）

アティカ海外労働者・コミュニティ・イニシアティブ

フィリピン・イロイロ州 ポトタン

民族 / 部族: フィリピノ
母語: ヒリガイノン語
宗教: キリスト教
職業: 技術指導員



仕事について：

「私の尊敬する優れたリーダーとは、他者のニーズを理解し、その考えや主義、主張を尊重する能力を持つ人です。」

マデリン・ブランコ・ヒネロソは、アティカ海外労働者・コミュニティ・イニシアティブで、海外フィリピン人労働者とその家族を対象とした、アグロフォレストリーの研修を行っています。マディは2021年に当団体で働き始め、現在では数百名の会員を支援する「ポッタノン海外フィリピン人労働者と家族の会」の会長を務めています。

地元に残された家族は、誤解や家族の支援不足といった、近隣との軋轢に苦しんでいます。マディは中東で10年間出稼ぎ労働者として働いた経験があり、出稼ぎ労働者の家族が直面する苦労を、身をもって体験してきました。彼女は社会起業家養成コースや、専門的な訓練を提供する政府機関との連携を通じて、こうしたコミュニティを支援しています。

アジア学院では、持続可能な農業についての学びを深め、帰国後はアグロフォレストリーのモデル訓練校の設立を目指しています。また、海外フィリピン人労働者のコミュニティでは借金と貯蓄が大きな課題となっているため、引き続き、移民女性を対象とした、資金計画について指導していく予定です。

送り出し団体について：

アティカは28年にわたり、移住による悪影響を最小限に抑え、フィリピン人コミュニティの発展のために移民たちの持つ潜在資源の可能性を最大限に引き出すことを目標としてきました。その活動は、人口のかなりの割合が海外で働いているコミュニティを中心としており、コミュニティの成員が足りなくても、残った人々が生活を維持できるよう努めています。マディのアグロフォレストリー管理を通じて、移住の社会的コストを最小限に抑え、農業や経済発展のための、移民たちの持つ潜在資源の活用を目指します。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)